

学生番号	13232205	氏名	矢野 空
論文題目	留学生のために飯塚の地域情報を提供するウェブシステムの開発		

1. はじめに

日本に留学を行う外国人学生は多く、国際統計サイトによると、日本に在学している留学生は150,617人で世界7位である[1]。都道府県別に見ると福岡県は10,779人と47都道府県で東京に次ぎ、2位となっている(2013年調べ)。九州工業大学の所在する、飯塚市の外国人登録者数は1,187人である。飯塚市内の留学生が通っている学校は主に、4校存在し、その中で九州工業大学に在籍する留学生が最も多くなっている[2]。近年では、インターネットを通じて多種多様な情報を留学生が容易に得ることが可能になっているが、その多くが日本語の語学学習及び、一般的な日本文化の周知を目的としており、方言などの地域ごとの詳細についての情報は少ない。このため、地方都市へ留学を考えている外国人学生には不安を感じる人も多い。本研究では、飯塚市に留学する学生の不安や悩みを少しでも解決しようと取り組みを行う。その一環として、日常生活で使う施設の位置などが把握出来るような地域密着型の地図アプリ開発をする。

2. 調査内容

地域密着型アプリを開発するにあたって、留学生のニーズを汲み取ることが重要な課題となる。そのために、留学生に意見を集めるための活動を行った。最初に、インタビューを複数回に分けて行った。次に、より多くの留学生の意見を集めるために、九州工業大学 学生系の協力を得てアンケートを行った。その結果、留学生より地図アプリケーションにおいて実装してほしい機能の要望があった。それを次のTable 1に示す。

Table 1 実装の要望があった機能

地域特色の場所を表示し、歴史や特徴を英語で記載する
日常生活でよく利用する日本語や方言などを場所ごとに閲覧出来る機能
教会やハラルフードを売っているお店を表示する機能
Wi-Fi スポットの表示

3. アプリケーション開発

アプリケーション開発では、Table 1に記載されている機能の実装をGoogle Maps APIを利用し、JavaScriptでプログラミングを行った。アプリの動作をFig. 1に示す。Fig. 1ではWi-Fi スポ

ットの表示を行っている。地域特色の場所を表示し、歴史や特徴を英語で記載する機能は、飯塚市歴史資料館に資料を提供していただき、英訳及び座標変換を行い、マップの各場所に詳細の表示をした。日常生活でよく利用する日本語や方言などを場所ごとに閲覧出来る機能は、留学生に行ったインタビューの結果より、日常生活でよく利用する場所を種別ごとに表示すると共に、その各場所で利用する日本語を表示した。教会やハラルフードを売っているお店を表示する機能では、現在九州工業大学に在学している留学生の話を基に場所、及び情報を掲載した。現在、本アプリケーションは、以下のURLにて公開している。

(<http://aquarius10.cse.kyutech.ac.jp/~yano/>)



Fig. 1 アプリケーションでWi-Fiスポットを表示した様子

4. 評価

実際に九州工業大学に在学している留学生に、使用してもらい、評価をしていただいた。「飯塚市に関する情報サイトで英語表記があるのはとても便利」、「福岡県の何処に飯塚市が所在しているのか、情報を載せて欲しい」、「留学生は公共交通機関をよく利用するのでその情報もマップに載せると良い」などの評価が得られた。この評価を基に、今後もサイトを改良する必要がある。

5. 参考文献

[1] 国際統計・国別統計専門サイト GLOBAL NOTE – <http://www.globalnote.jp>
 [2] 飯塚国際交流推進協議会 事務局 飯塚市総合政策課